（財）財務会計基準機構会員

平成２０年３月期　第３四半期財務・業績の概況

平成２０年２月４日

上場会社名　兼 松 株 式 会 社　　上場取引所　東証一部・大証一部

コ ー ド 番 号　８０２０　　ＵＲＬ　http://www.kanematsu.co.jp

代　表　者　役職名　代表取締役社長　　氏名　三輪　徳泰

問合せ先責任者　役職名　主計部長　　氏名　作山　信好　　ＴＥＬ（０３）５４４０－８９７９

（百万円未満切り捨て）

１．平成２０年３月期第３四半期の連結業績（平成１９年４月１日～平成１９年１２月３１日）

（１）連結経営成績　　（％表示は対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年３月期第３四半期	925,052	△ 1.9	18,354	8.2	15,560	10.5	16,627	93.3
19年３月期第３四半期	943,082	22.6	16,964	46.4	14,086	45.0	8,601	－
19年３月期	1,281,331		21,713		17,255		7,507	

（注）平成19年３月期第３四半期の「売上高」は、平成19年５月18日付プレスリリースにてお知らせしているとおり、951,444百万円から943,082百万円に修正しております。

	１株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益
	円　銭	円　銭
20年３月期第３四半期	39　73	－
19年３月期第３四半期	20　55	－
19年３月期	17　94	－

（２）連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
20年３月期第３四半期	517,006	64,390	9.2	114　28
19年３月期第３四半期	566,716	49,529	6.1	82　03
19年３月期	563,176	48,767	5.9	78　75

２．配当の状況

	１株当たり配当金		
（基準日）	中間期末	期　末	年　間
	円　銭	円　銭	円　銭
19年３月期	－	－	0　00
20年３月期	－		（未定）
20年３月期(予想)		（未定）	

３．平成２０年３月期の連結業績予想（平成１９年４月１日～平成２０年３月３１日）　【参考】

通期の連結業績予想については以下のとおりであり、前回（平成19年11月２日）公表した数値のうち「当期純利益」を16,000百万円から18,000百万円に見直しております。

（％表示は対前期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　　期	1,300,000	1.5	23,500	8.2	19,000	10.1	18,000	139.8	43　01

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無
（２）会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：無
（３）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：有

（注）詳細は、４ページ「【定性的情報・財務諸表等】４.その他」をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通しは、本資料の発表日現在における入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。したがいまして、実際の業績につきましては、今後の様々な状況変化により、記載の見通しとは異なる可能性がありますことにご留意ください。なお、業績予想に関する事項は、３ページ「【定性的情報・財務諸表等】３．連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期の世界経済は、サブプライム問題の拡大から米国の実体経済への影響が懸念されましたが、北京オリンピックや万博の開催を控えて２桁台の高成長を続ける中国をはじめとしたＢＲＩＣｓ各国の活発な動きが存在感を増しており、総じて順調に推移しました。

一方、日本経済は、原油・穀物価格の高騰による物価上昇懸念から個人消費の落込みが心配されましたが、引き続きアジア向け輸出が好調なことから企業業績が底固く推移したこともあり、緩やかな鈍化に留まりました。

このような環境下、当第３四半期の売上高はコアであるＩＴ、食品・食糧、鉄鋼・プラント部門の取引が伸張したものの、兼松繊維株式会社の持分法適用会社移行にともなう旧繊維セグメントの減少等の要因によって、前年同期比１８０億円減収の９，２５０億円となり、売上総利益についても前年同期比７９億円の減益となりました。一方、営業利益は、飼料事業に加え畜産が好調な食品・食糧部門の牽引により前年同期比１４億円増加の１８４億円、経常利益も前年同期比１５億円良化の１５６億円となりました。また、特別損益の項目で、引き続き国内外の事業における投融資や固定資産の見直しを進め３１億円の特別損失を計上する一方、ＬＮＧプロジェクト権益や航空機リース資産の処分による特別利益を１４８億円計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は２７２億円となり、税金費用および少数株主利益を差し引いた当第３四半期の純利益は、前年同期に比べ８０億円増加の１６６億円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の総資産は、繊維関係子会社の連結除外にともなう資産の減少や投資有価証券および航空機リース資産などの処分により、前期末に比べ流動資産が１９７億円、固定資産が２６５億円減少の５，１７０億円となりました。有利子負債につきましては、主として短期借入金の返済により前期末比３４５億円減少の２，３６２億円となり、有利子負債から現預金を差し引いたネット有利子負債も、前期末比１７５億円減少の１，８７４億円に減少しました。純資産につきましては、当第３四半期純利益によって前期末比１５６億円増加の６４４億円となった結果、自己資本比率は前期末の５．９％から９．２％に、ネット有利子負債自己資本倍率（ネットＤＥＲ）は前期末の６．２倍から３．９倍に、それぞれ大幅に改善しました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、サブプライム問題の拡がりから、米国および世界の実体経済の減速が懸念され株式・為替市場の動揺も予想されうることから、昨年比かなり不透明感が増して来ております。

一方で、先に公表した平成２０年３月期通期連結業績予想（平成１９年１１月２日）については、当第３四半期までの経常利益、当期純利益が順調に推移していることを踏まえて、売上高、営業利益、経常利益は据え置きのまま、当期純利益を１６０億円から１８０億円に見直しいたします。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（役員退職慰労引当金の計上）
役員退職慰労金については、従来から株主総会の決議を経た上で支出時に費用計上する方法を採用しておりましたが、当連結会計期間より「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会　監査・保証実務委員会報告第42号）を適用し、内規等に基づいて合理的に見積もることのできる金額を引当金として繰り入れる方法へ変更いたしました。
なお、期首時点で計上すべき過年度相当額440百万円につきましては、当連結会計期間の特別損失として計上しております。

（減価償却に関する会計方針の変更）
当連結会計期間より、法人税法の改正にともない、一部の連結子会社は、平成19年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。
（追加情報）
一部の連結子会社は、法人税法の改正にともない、平成19年３月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法により取得価額の５％に到達した期の翌期より、取得価額の５％相当額と備忘価額との差額を５年間にわたり均等償却し、減価償却に含めて計上しております。これによる当連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（譲渡性預金の表示）
金融商品取引法の施行により、当中間連結会計期間末より譲渡性預金を現金及び預金から有価証券に振り替えて表示しております。

（事業の種類別セグメント情報の事業区分）
平成19年５月31日に株式持分の一部を譲渡したことにより、当社の主要な連結子会社であった兼松繊維株式会社が当連結会計期間より持分法適用会社へ異動したことにともない、従来開示を行っていた繊維セグメントの重要性が乏しくなったため、当連結会計期間より繊維セグメントの区分表示を廃止し、その他セグメントに含めて表示することにいたしました。

(4) 当第３四半期及び前第３四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第３四半期末（平成19年12月末）	前連結会計年度末（平成19年３月末）	増　減	科　目	当第３四半期末（平成19年12月末）	前連結会計年度末（平成19年３月末）	増　減
（資産の部）				（負債の部）			
Ⅰ　流動資産				Ⅰ　流動負債			
1　現金及び預金	48,788	65,778	△ 16,990	1　支払手形及び買掛金	158,652	176,658	△ 18,006
2　受取手形及び売掛金	210,906	205,639	5,267	2　短期借入金	109,651	143,527	△ 33,876
3　有価証券	3,500	－	3,500	3　未払法人税等	1,891	3,424	△ 1,533
4　たな卸資産	72,430	84,942	△ 12,512	4　繰延税金負債	－	0	△ 0
5　短期貸付金	6,193	5,145	1,048	5　その他	40,724	43,882	△ 3,158
6　繰延税金資産	3,131	4,655	△ 1,524	流動負債合計	310,919	367,493	△ 56,574
7　その他	42,985	41,709	1,276	Ⅱ　固定負債			
貸倒引当金	△ 1,056	△ 1,280	224	1　長期借入金	126,563	127,151	△ 588
流動資産合計	386,879	406,590	△ 19,711	2　繰延税金負債	63	90	△ 27
Ⅱ　固定資産				3　退職給付引当金	4,732	5,441	△ 709
1　有形固定資産	38,832	40,601	△ 1,769	4　債務保証損失引当金	82	4,189	△ 4,107
2　無形固定資産	3,369	3,549	△ 180	5　訴訟等損失引当金	553	532	20
3　投資その他の資産				6　役員退職慰労引当金	634	－	634
(1) 投資有価証券	52,894	71,616	△ 18,722	7　その他	9,065	9,510	△ 445
(2) 長期貸付金	10,924	14,231	△ 3,307	固定負債合計	141,696	146,916	△ 5,220
(3) 固定化営業債権	22,404	23,809	△ 1,405	負債合計	452,615	514,409	△ 61,794
(4) 繰延税金資産	16,179	19,595	△ 3,416				
(5) その他	14,052	12,402	1,650	（純資産の部）			
貸倒引当金	△ 28,529	△ 29,221	692	Ⅰ　株主資本			
投資その他の資産計	87,925	112,435	△ 24,510	1　資本金	27,781	27,781	－
固定資産合計	130,127	156,586	△ 26,459	2　資本剰余金	27,646	27,646	△ 0
				3　利益剰余金	7,133	△ 9,496	16,629
				4　自己株式	△ 647	△ 627	△ 20
				株主資本合計	61,913	45,303	16,610
				Ⅱ　評価・換算差額等			
				1　その他有価証券評価差額金	2,645	3,853	△ 1,208
				2　繰延ヘッジ損益	292	112	180
				3　土地再評価差額金	58	58	△ 0
				4　為替換算調整勘定	△ 17,092	△ 16,368	△ 724
				評価・換算差額等合計	△ 14,095	△ 12,344	△ 1,751
				Ⅲ　少数株主持分	16,572	15,807	765
				純資産合計	64,390	48,767	15,623
資産合計	517,006	563,176	△ 46,170	負債及び純資産合計	517,006	563,176	△ 46,170

（２）四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当第３四半期 （自 平成19年４月１日 至 平成19年12月31日）		前第３四半期 （自 平成18年４月１日 至 平成18年12月31日）		増　減		（参　考） 前連結会計年度 （自 平成18年４月１日 至 平成19年３月31日）	
	金　額	百分比	金　額	百分比	金　額	増減率	金　額	百分比
		%		%		%		%
Ⅰ　売上高	925,052	100	943,082	100	△ 18,030	△ 1.9	1,281,331	100
Ⅱ　売上原価	857,077	92.65	867,255	91.96	△ 10,178	△ 1.2	1,177,619	91.91
売上総利益	67,975	7.35	75,827	8.04	△ 7,852	△ 10.4	103,711	8.09
Ⅲ　販売費及び一般管理費	49,620	5.37	58,863	6.24	△ 9,243	△ 15.7	81,997	6.40
営業利益	18,354	1.98	16,964	1.80	1,390	8.2	21,713	1.69
Ⅳ　営業外収益								
1　受取利息	1,132		1,199		△ 67		1,572	
2　受取配当金	852		1,273		△ 421		1,282	
3　持分法による投資利益	1,158		712		446		731	
4　その他	1,029		1,025		4		1,734	
営業外収益計	4,172	0.45	4,211	0.45	△ 39	△ 0.9	5,320	0.42
Ⅴ　営業外費用								
1　支払利息	5,289		6,138		△ 849		8,278	
2　その他	1,677		949		728		1,499	
営業外費用計	6,966	0.75	7,088	0.75	△ 122	△ 1.7	9,778	0.76
経常利益	15,560	1.68	14,086	1.49	1,474	10.5	17,255	1.35
Ⅵ　特別利益								
1　有形固定資産等売却益	83		4,191		△ 4,108		6,655	
2　無形固定資産等売却益	37		－		37		－	
3　投資有価証券売却益	14,357		974		13,383		1,574	
4　貸倒引当金戻入益	281		481		△ 200		549	
特別利益計	14,758	1.60	5,647	0.60	9,111	161.3	8,779	0.68
Ⅶ　特別損失								
1　有形固定資産等処分損	131		394		△ 263		1,058	
2　減損損失	533		102		431		2,309	
3　投資有価証券売却損	155		192		△ 37		225	
4　投資有価証券評価損	106		89		17		532	
5　関係会社等事業整理損	262		105		157		1,153	
6　関係会社等貸倒引当金繰入額	－		1,523		△ 1,523		725	
7　特定事業債権貸倒引当金繰入額	613		1,223		△ 610		3,877	
8　特定事業用資産評価損	873		－		873		－	
9　債務保証損失引当金繰入額	－		518		△ 518		1,004	
10　訴訟等損失引当金繰入額	20		－		20		532	
11　過年度役員退職慰労引当金繰入額	440		－		440		－	
特別損失計	3,138	0.34	4,149	0.44	△ 1,011	△ 24.4	11,420	0.89
税金等調整前四半期(当期)純利益	27,180	2.94	15,585	1.65	11,595	74.4	14,615	1.14
法人税、住民税及び事業税	4,054	0.44	3,611	0.38	443	12.2	6,193	0.48
法人税等調整額	5,301	0.57	2,298	0.25	3,003	130.7	139	0.01
少数株主利益	1,196	0.13	1,074	0.12	122	11.4	775	0.06
四半期（当期）純利益	16,627	1.80	8,601	0.91	8,026	93.3	7,507	0.59

（３）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第３四半期（自　平成19年４月１日　至　平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	Ｉ　Ｔ	食品･食糧	鉄鋼・プラント	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ・ｴﾈﾙｷﾞｰ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	268,941	211,810	189,700	227,318	27,280	925,052	－	925,052
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17	0	17	47	47	129	(129)	－
計	268,958	211,810	189,718	227,366	27,327	925,182	(129)	925,052
営業費用	262,942	208,304	183,458	225,768	26,823	907,298	(600)	906,698
営業利益	6,016	3,506	6,259	1,597	503	17,883	471	18,354

前第３四半期（自　平成18年４月１日　至　平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	Ｉ　Ｔ	食品･食糧	鉄鋼・プラント	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ・ｴﾈﾙｷﾞｰ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	253,219	207,540	179,442	233,842	69,036	943,082	－	943,082
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	37	0	8	59	74	179	(179)	－
計	253,257	207,540	179,451	233,901	69,110	943,262	(179)	943,082
営業費用	247,649	205,434	173,702	231,473	68,236	926,497	(378)	926,118
営業利益	5,607	2,106	5,748	2,428	874	16,765	198	16,964

前連結会計年度（自　平成18年４月１日　至　平成19年３月31日）

（単位：百万円）

	Ｉ　Ｔ	食品･食糧	鉄鋼・プラント	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ・ｴﾈﾙｷﾞｰ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	357,926	274,162	247,115	308,328	93,798	1,281,331	－	1,281,331
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	27	1	9	61	88	189	(189)	－
計	357,954	274,163	247,125	308,390	93,887	1,281,520	(189)	1,281,331
営業費用	350,041	272,356	239,704	305,537	92,890	1,260,531	(913)	1,259,617
営業利益	7,913	1,806	7,421	2,852	997	20,989	723	21,713

（注）当社の主要な連結子会社であった兼松繊維株式会社が当連結会計期間より持分法適用会社へ異動したことにともない、繊維セグメントの重要性が乏しくなったため、当連結会計期間より繊維セグメントを廃止し、その他セグメントにまとめて表示することにいたしました。
なお、その他セグメントに含まれる当第３四半期の繊維事業の売上高は1,574百万円、営業利益は7百万円、前第３四半期の売上高は42,759百万円、営業利益は274百万円、前連結会計年度の売上高は57,757百万円、営業利益は486百万円であります。

平成20年2月4日
兼松株式会社

平成20年3月期　第3四半期　連結業績ハイライト

○営業利益・経常利益は、前年同期比増益。（営業利益　：　14億円（8．2%）増益　⇒184億円／経常利益　：　15億円（10．5%）増益　⇒156億円）

○当期純利益は、LNG権益売却益等もあり、前年同期比80億円（93．3%）の増益で、166億円。

○当期純利益の通期見通しを、10月1日付け公表の160億円から180億円に上方修正。

（単位：億円）

収益の状況	平成19年3月期		平成20年3月期			前年同期比		平成20年3月期見通し（平成20年2月4日修正）		実績の概要
	中間期	第1～第3四半期累計	中間期	第3四半期	第1～第3四半期累計	増減額	増減率		進捗率	
売上高	6,181	9,431	6,136	3,114	9,251	△ 180	△1.9%	13,000	71.2%	**売上高** 兼松繊維の持分法適用会社移行等により減収。一方、IT、食品・食糧、鉄鋼・プラントでは増収。
売上総利益	485	758	459	220	680	△ 79	△10.4%	—	—	**売上総利益** 兼松繊維の持分法適用会社への移行等により減益。
売上総利益率	7.8%	8.0%	7.5%	7.1%	7.4%	△0.7	—	—	—	
販売費及び一般管理費	△ 364	△ 589	△ 334	△ 162	△ 496	93	△15.7%	—	—	
営業利益	121	170	125	58	184	14	8.2%	235	78.1%	**営業利益** 食品・食糧部門の飼料および畜産事業、IT部門のソリューションおよびモバイル事業が好調で増益。
営業外収益	20	42	32	10	42	△ 0	△0.9%	—	—	
営業外費用	△ 47	△ 71	△ 48	△ 22	△ 70	1	△1.7%	—	—	
経常利益	94	141	110	46	156	15	10.5%	190	81.9%	**経常利益** 営業利益の増加やグロス有利子負債減少による金融収支改善により増益。
特別利益	54	56	24	124	148	91	161.3%	—	—	**特別損益** LNG権益売却による特別利益を計上。
特別損失	△ 27	△ 41	△ 30	△ 1	△ 31	10	△24.4%	—	—	
税金等調整前当期純利益	121	156	103	169	272	116	74.4%	—	—	**当期純利益** 経常利益増益に加え、特別利益が増加した為前年同期比大幅増益。
法人税等及び少数株主利益	△ 58	△ 70	△ 48	△ 58	△ 106	△ 36	51.1%	—	—	
当期純利益	63	86	55	111	166	80	93.3%	180	92.4%	

（単位：億円）

事業別セグメント情報	売上高				営業利益				各セグメントの概要
	平成19年3月期 第1～第3四半期累計	平成20年3月期 第1～第3四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	平成19年3月期 第1～第3四半期累計	平成20年3月期 第1～第3四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	
I　　T	2,533	2,690	157	6.2%	56	60	4	7.3%	**I T** システムソリューション事業、モバイル関連事業が引き続き好調を持続し増収増益。
食品・食糧	2,075	2,118	43	2.1%	21	35	14	66.5%	**食品・食糧** 飼料事業に加え、豚肉・鶏肉の販売も好調に推移しており、増収増益。
鉄　　鋼	1,046	1,088	42	4.0%	43	44	1	2.5%	
プラント	748	809	61	8.1%	15	19	4	27.7%	
鉄鋼・プラント	1,794	1,897	103	5.7%	58	63	5	8.9%	**鉄鋼・プラント** 鉄鋼は引き続き大洋州向け、北米向け特殊鋼事業が好調で増収増益。プラントも工作機械・輸送機が堅調に推移し、増収増益。
エネルギー	2,099	2,040	△ 59	△2.8%	21	14	△ 7	△32.0%	
ライフサイエンス	240	234	△ 6	△2.5%	3	2	△ 1	△47.7%	**ライフサイエンス・エネルギー** 子会社におけるエネルギー事業縮小により減収。相場高止まりによる収益機会減により減益。
ライフサイエンス・エネルギー	2,339	2,274	△ 65	△2.8%	24	16	△ 8	△34.2%	
その他	691	273	△ 418	△60.5%	9	5	△ 4	△42.4%	**その他** 前年同期に兼松繊維を含む。
消去又は全社	△ 2	△ 1	1	—	2	5	3	—	
合　　計	9,431	9,251	△ 180	△1.9%	170	184	14	8.2%	

（単位：億円）

資産・負債及び純資産の状況	平成19年3月末	平成19年12月末	平成19年3月末比 増減	平成19年3月末比 増減率	概　　要
総資産	5,632	5,170	△ 462	△8.2%	**総資産** 兼松繊維の持分法適用会社への移行や、航空機リース資産の売却による減少。
グロス有利子負債	2,707	2,362	△ 345	△12.7%	
ネット有利子負債	2,049	1,874	△ 175	△8.5%	**有利子負債** グロス有利子負債は345億円削減。 ネット有利子負債についても175億円減少。
株主資本	453	619	166	36.7%	**株主資本** 当期純利益の増加により増加。 その結果、自己資本比率は9．2%、ネットDERは3．9倍に改善。
評価・換算差額等	△ 123	△ 141	△ 18	14.2%	
少数株主持分	158	166	8	4.8%	
純資産合計	488	644	156	32.0%	
自己資本比率（注1）	5.9%	9.2%	3.4%	—	
ネットDER（倍）（注2）	6.2	3.9	△ 2.3	—	

（注1）自己資本比率＝（純資産－少数株主持分）／総資産　（注2）ネットDER＝ネット有利子負債／（純資産－少数株主持分）